

あなたからのありがとうございます
ありがとう

岩手県花巻市東和町安俵6区97番地
特定非営利活動法人ゆう・ゆう
発行：グループホームなごみ・なごみⅡ
電話 0198-43-1050
FAX 0198-42-1753
Email nagomi@cup.ocn.ne.jp

第143号 平成29年4月1日発行

広報紙なごみ



開所以来初めての百壽者誕生に入居者様も職員も総出で踊り明かした(?)誕生会でした。

なごみの暮らし

94歳おめでとう！



大迫の堀切様グループが3月5日来園し、ギター演奏で私たちを楽しませてくれました。音響装置まで持参し、迫力ある音で懐かしい歌謡曲や童謡まで幅広い曲を聴かせて下さり、すがすがしい気持ちになりました。



チエ様は昔から働き者だったそうで、入居した頃も毎日外に出ては庭の掃き掃除を手伝って貰いました。最近はやっと一休み！



笑う門には福来たる・職員と昔話で盛り上がり、腹を抱えて皆さん大笑い。杉山様の目も少女のようにキラキラと輝いていました。



毎年安様の平野定子様が一年がかりで作成したつるしびなを入居者様のために持参され、今もホールに展示しております。きれいだね。この生地も立派なものを使ってること。」



職員からの投稿写真。
題名まで付けてくれました。

「夢見る乙女！」



職員による足指体操「痛くないですか？」

「うん気持ちが良いねえ。」

3月のなごみジムスケジュール



「阿部さん！私に向けて強く投げてください。」

なごみⅡの暮らし

89歳おめでとう



サト子様は3月29日めでたく89歳になりました。ご挨拶抜粋「どうか皆さん、私を見捨てないで今後とも宜しくお世話下さい。」

なごみⅡのお内裏様はユキエ様とツギ子様
に務めてもらいました。何事にも積極的に挑
戦するのがなごみⅡです。



平野定子様作品。私たちがほのぼのとし
た気持ちにさせてくれるフクロウたちです。



お互い様だよ。

申し訳
ねえな。

3月7日お話しボランティアさんに来て頂き、
一緒にお好み焼きに挑戦。大津様は手慣れ
たもので、焦がすことなく出来上がり。



出来る事は自分でやろう！なんて言われ
たけど、このタイヤパンクしてるんじゃない
かしらね。



桜が満開の本を開いて、「お花見に連れ
てって！」と訴える畠山様でした。

“苦情で変わる日本の伝統や風物詩”というテレビ番組がありました。除夜の鐘がうるさいとのことで“除夜の鐘”ならぬ“除夕の鐘”。参加者全員がイヤホンで踊る無音盆踊り。節分の豆まきは豆の代わりに丸めた新聞紙。

二宮金次郎の銅像は歩きスマホを助長するとのことで座った銅像。徒競走では順位を付けない。お遊戯会には主役の桃太郎さんが5人も・・・今では昔話でさえも結末が変わっているものがあるとか。

Sさんの感想「馬鹿にしてるね」Rさん「面白ぐねなはん」Iさん「ホーなんぼしたって」Oさん「今の人の考えは理解出来ないね」珍しく私も激しく同意。

いつから過敏な社会になったのでしょうか。いつから寛容さを失ってしまったのでしょうか。そう思うのは考えが古いのでしょうか。賛否両論あると思いますが、それにしても大丈夫か日本！ なごみ副園長 佐々木ひろみ

先頃、東京では桜の開花宣言がありました。岩手はまだまだ寒い日が続いており、朝方は霜が降りる日もあります。でも日中は暖かく春の訪れが待ち遠しいこの頃です。

さて、私はなごみで介護の仕事を始めて1年が経ちました。初めての仕事に戸惑いや不安を感じながらの1年でしたが、ある日こんな事がありました。

年が明けて、なごみⅡに來られたT様。「のんびり屋なので」と、控えめで静かに仰り、いつもにこにこ笑顔を絶やさないう方です。私が夜勤を独り立ちしたばかりの時に「夜勤お疲れ様です」と言ってくださいました。

普段、他の利用者様からも「ありがとう」と感謝の言葉はいただきますが、T様もなごみに來られたばかりなのに職員を気遣ってくださり、嬉しくて思わずうろつきてしまいました。

天気の良い日などは窓の外を眺めているT様。まだ一緒に外出等に行けていないので、暖かくなったらぜひ一緒に行きましょう。

まだまだ半人前の私ですが、これからも利用者様、家族様にとって安心・安全な生活が送れる支援を心掛けていきたいと思ひます。
なごみⅡ介護員 立川目由香

お蔭様です

お話ボランティアの皆様 お菓子作り

大迫 堀切和重様他 ギター演奏

新鉛温泉 愛隣館様 寝具寄贈

安俣 平野定子様 つるしびな展示

4月の行事予定

4月20日 グループホーム運営推進会議開催



なごみⅡのハイビスカス

窓辺から見える風景

いよいよ新年度を迎えます。昨年度は秋口から入居者様が立て続けに入院するという事態に追われ寂しい思いに襲われたものです。どうか新しい年こそ皆さんが元気で過ごして欲しいと願うばかりです。

さて、大相撲春場所も稀勢の里のまさかの逆転優勝で幕を閉じましたが、千秋楽はビールを片手にテレビに釘付けになりました。ここぞと言う時に、いつも下位の力士に簡単に負けては、何度もファンの期待を裏切ってきた稀勢の里。しかも横綱になって初めての場所とあって、コチコチになっての連敗も仕方ないことと想像していたところ、今までは全く別人のような落ち着いた取り口で連勝に次ぐ連勝。後半は優勝杯がちらついてきて緊張の日々だったに違いありません。今度こそ頼むぞと、こちらまで緊張しながら仕切りを見つめた13日目に悲劇が起きました。

日馬富士に押し倒された後、左腕を痛めて立ち上げられません。優勝を目前にしての負傷に、日本中のファンはがっかりしたに違いありません。休場も止むなしと誰しも思ったのですが、怪我を押しての出場。翌日は予想通りあつけなく連敗したのですが、千秋楽の一番での逆転。そして固唾を飲んで見守った優勝決定戦で奇跡としか言いようのない事態が起きました。

新聞には「右腕1本2連勝」の活字が踊り、まさに執念の優勝でした。稀勢の里の目から溢れる涙にもらい泣きそうになり、上を向いてその日は4杯の美酒を口にしました。

横綱の言葉が印象的です。「目に見えない力を感じた。多くの人に支えられて優勝できた。」頂点に立ったスポーツ選手が語る言葉は共通して、「多くの方の声援のお陰です。」という感謝の言葉です。

強くなればなるほど、多くの人に支えられているという境地に達するのでしょうか。

私たちが多くの人に支えられて生きていることを悟らなければなりません。

統括 佐藤 俊一